

ブタの日本脳炎HI抗体保有状況調査速報 —2001年第13報—

日本脳炎のヒトへの感染は、日本脳炎ウイルスを媒介する蚊（コガタアカイエカ）が日本脳炎ウイルスに感染したブタを吸血し、その後ヒトを刺すことにより起こる。

感染症流行予測調査事業では、全国各地のブタ血清中の日本脳炎ウイルスに対する抗体を赤血球凝集抑制法（Hemagglutination inhibition test；HI法）を用いて測定することにより、間接的に日本脳炎ウイルスの蔓延状況を調査している。前年の秋以降に生まれたブタが日本脳炎ウイルスに対する抗体を保有し、さらに2-メルカプトエタノール（2-ME）感受性抗体（IgM抗体）を保有している場合、そのブタは最近日本脳炎ウイルスに感染したと考えられる。

1960年代までは、毎年夏から秋にかけて多数の日本脳炎患者が発生しており、ブタの感染状況から日本脳炎ウイルスが蔓延している地域に多くの患者発生がみられた。調査したブタの半数以上が日本脳炎ウイルスに感染していると、約2週間後からその地域に日本脳炎患者が発生してくるとの報告もあるが、現在では、日本脳炎ワクチンの普及や生活環境の変化等により、ブタの感染状況と患者発生は必ずしも一致していない。近年における日本脳炎患者発生数は毎年数名程度であるが、ブタの感染状況から日本脳炎ウイルスが蔓延していると推測される地域では、ヒトへの感染の危険性が高くなっていると考えられる。

本速報は、日本脳炎ウイルスの感染に対する注意を喚起するものである。それぞれの居住地域における日本脳炎に関する情報に注意し、日本脳炎ウイルスが蔓延していると推測される地域においては、予防接種を受けていない人、乳幼児、高齢者は蚊に刺されないようにするなど注意が必要である。

◎ 8月7日より	福岡	太宰府 9月4日	10	90% (9/10頭)	44% (4/9頭)	8月7日	タ(10頭/10頭)がHI抗体陽性。2-ME感受性抗体は保持していなかった。
◎ 8月21日より	高知	中村 9月11日	10	70% (7/10頭)	0% (0/7頭)	8月21日	9月4日は40%のブタ(4頭/10頭)がHI抗体陽性。そのうち100%(2頭/2頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
◎ 9月4日より	愛媛	大洲 9月17日	20	25% (5/20頭)	0% (0/5頭)	9月4日	9月4日は75%のブタ(15頭/20頭)がHI抗体陽性。36%(5/14頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
	香川	坂出 9月10日	20	15% (3/20頭)		8月20日	9月3日は陰性(0頭/20頭)。
◎ 8月20日より	広島	三次 9月17日	10	10% (1/10頭)	100% (1/1頭)	8月20日	9月5日は100%のブタ(10頭/10頭)がHI抗体陽性。75%(3/4頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
	島根	島根 9月17日	20	5% (1/20頭)	100% (1/1頭)	9月4日	9月4日は20%のブタ(4頭/20頭)がHI抗体陽性。そのうち100%(4頭/4頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
	和歌山	8月3日	13	15% (2/13頭)			7月26日～31日は陰性(0頭/15頭)。
	奈良	奈良 9月11日	23	0%			9月4日も陰性(0頭/19頭)。
	兵庫	西播磨 9月3日	15	0%			8月27日は陰性(0頭/15頭)。
	滋賀	滋賀 9月20日	10	10% (1/10頭)			9月14日は陰性(0頭/10頭)。
	三重	松阪 9月11日	10	10% (1/10頭)			8月28日は10%のブタ(1頭/10頭)がHI抗体陽性。2-ME感受性抗体は保持していなかった。
◎ 8月13日より	静岡	小笠 9月26日	20	95% (19/20頭)	41% (7/17頭)	7月23日	9月3日は90%のブタ(9頭/10頭)がHI抗体陽性。そのうち44%(4/9頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
◎ 9月14日より	山梨	山梨 9月21日	10	60% (6/10頭)	20% (1/5頭)	9月14日	9月14日は80%のブタ(8頭/10頭)がHI抗体陽性。そのうち13%(1頭/8頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
◎ 9月5日より	石川	金沢 9月26日	10	100% (10/10頭)	20% (2/10頭)	9月5日	9月18日は100%のブタ(10頭/10頭)がHI抗体陽性。80%(8頭/10頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
◎ 9月18日より	富山	新湊 9月25日	20	20% (4/20頭)	75% (3/4頭)	9月11日	9月18日は50%のブタ(10頭/20頭)がHI抗体陽性。そのうち70%(7頭/10頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
	新潟	新潟 9月25日	10	10% (1/10頭)		9月17日	9月17日は10%のブタ(1頭/10頭)がHI抗体陽性。100%(1頭/1頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。
	神奈川	平塚 9月25日	20	10% (2/20頭)	100% (2/2頭)	9月4日	9月18日は陰性(0頭/20頭)。
		八王子					9月10日～13日は陰

	東京	9月17日～20日	50	0%			性(0頭/50頭)。	
◎ 9月3日より	千葉	旭 9月17日	20	65% (13/20頭)	46% (6/13頭)	9月3日	9月10日は85%のブタ(17頭/20頭)がHI抗体陽性。そのうち100%(17頭/17頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。	
	群馬	玉村 8月7日	16	0%			7月24日は6%のブタ(1頭/16頭)がHI抗体陽性。	
	栃木	宇都宮 9月3日	20	0%			8月27日は5%のブタ(1頭/20頭)がHI抗体陽性。	
	茨城	水戸 9月26日	13	15% (2/13頭)	0% (0/1頭)	9月19日	9月19日は8%のブタ(1頭/12頭)がHI抗体陽性。100%(1頭/1頭)が2-ME感受性抗体を保持していた。	
	秋田	秋田 9月27日	12	0%			9月13日も陰性(0頭/12頭)。	
	宮城	仙南 9月17日	28	4% (1/28頭)			9月3日は陰性(0頭/26頭)。	
	北海道	道南 8月16日	10	0%			8月2日も陰性(0頭/10頭)。	
	北海道	道央 8月27日	10	0%			8月20日も陰性(0頭/10頭)。	
◎	日本脳炎ウイルス汚染が推定された地域 (今シーズンの調査で、調査ブタにおいて、1：10以上のHI抗体保有率が50%を越え、かつ2-ME感受性抗体が検出された地域)							
☆	日本脳炎HI抗体及び2-ME感受性抗体の保有率以外の情報より日本脳炎ウイルス汚染が推定された地域							
*	2-ME感受性抗体の検査は、1：40以上のHI抗体価を示した血清について調査した。							
	■	今シーズンの調査で、ブタのHI抗体保有率が80%を越えた地域						
	■	今シーズンの調査で、ブタのHI抗体保有率が50%を越え、かつ2-ME感受性抗体が検出された地域						
	■	今シーズンの調査で、ブタの新鮮感染(2-ME感受性抗体)が検出された地域						

国立感染症研究所 ウィルス第一部
国立感染症研究所 感染症情報センター